

県内百貨店・主要小売店12月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	3.3		▲9.6
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	8.9	6.3	1.4
Vドラッグ	10.2	8.2	4.4
ホームセンターバロー	6.0	3.0	▲2.3
セリア	5.1	1.0	0.3
ヒマラヤ	6.8	0.9	▲3.3

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計



県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の2022年12月売上高実績(速報値、小売店は全店売上高)は、全社が前年同月を上回った。
岐阜高島屋は新型コロナウイルスや大雪の影響で客数は減ったが、男女ともカシミア衣料が堅調で、贈答品の需要回復もあった。
セリアは商業施設やスーパーに出店する店舗に勢いがある。客足が回復し、客数と既存店売上高は21年10月以来の

12月の百貨店 全社が前年上回る
小売店売上高

前年同月超え。キャラクター商品が好調で、クリスマスや正月関連商品も売れた。
バローは全部門で前年同月を上回った。24日の大雪はマイナス要因だったが、以降は好調を維持し、年始関連商品などが売れた。Vドラッグは医療品を中心に伸び、食品部門や調剤部門も好調。化粧品はやや低調。ホームセンターバローは農業資材や農園芸機械などが好調に推移した。
ヒマラヤは冬物衣料やウィンター用品が順調。サッカーW杯効果でサッカー用品が大幅に伸びた。トレーニング用品は好調を維持している。